



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう
R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 74 回 例会 1979 年 12 月 6 日 (木) 晴 第 79 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
30 名	25 名	83.3%	100%
欠席者 藤田, 蜂屋, 近藤, 佐藤, 高山			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田 会長
 ソングリーダー 辻 国明君
 「君が代」 「奉仕の理想」

ゲスト

小堀憲助氏

ビジター

木目田至君 (東京町田) 上野次郎君 (横浜瀬谷)
 足立亀久夫君 (座間) 星幸男君 榎山照君 川島
 熊平君 入内嶋和夫君, 吉利正勝君 土屋善太郎
 君 出縄茂君 竹村孟昭君 江上尚志君 (大和)

会長報告

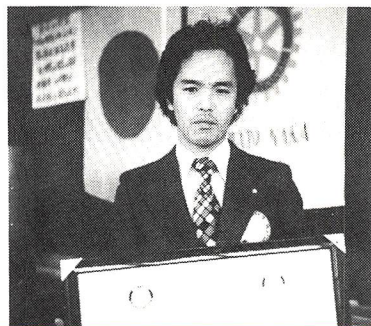
- 1980~81 年度大和中クラブ理事候補者を次の方々に決定させて頂きました, また理事会をもって指名委員会にかえさせて頂きましたことも併せて報告いたします。(芦田敬治, 猪熊唯夫, 伊藤正男, 亀谷志郎, 大高安男, 土屋翁三, 上田利久 各会員ABC順)。
- 今日から仲間が1人増えます。竹本建一さん (職業分類 電器部品製造) です。推薦者の伊藤英夫会員から紹介して下さい。

伊藤 (英) 会員 大和アパッチ 3 人の 1 人です。
 昭21年生れ, 県立横須賀工業, 電子科卒, 日立

電子サービスに勤務, 昭和44年 電線工場を大和市中和田に設立。大和プリント工業専務の役職におられます。よろしくお願ひします。

竹本建一会員 只今ご紹介頂きました竹本でご座居ます。電線の製造を行っており, 私達の職場の7割までが女性ですので仕事場の和を大切にしております。いたらない私でご座居ますが諸先輩のご指導を頂き及ばずながら頑張っ参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

竹本会員



本日のプログラム 12月13日
 ガバナー公式訪問 伊藤茂ガバナー

次週予定 12月20日
 イニジェイションスピーチ 伊藤 (正) 君, 布施君 古木君

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央 1-5-40
 及び 大和市商工会館内
 例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
 会長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実
 幹事 : 北 砂 富 三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

幹事報告

- ガバナー公式訪問に際して何回も申し上げております様に、各委員長は万全をきして下さい。
- 在日ベトナム難民収容施設修理資金援助お願い
藤沢西ロータリークラブ 一回覧一
- 例会後理事、役員会開催

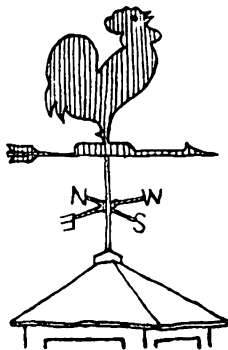
委員会報告

ロータリー情報委員会 伊藤英夫副委員長

- 本日 午後7⁰⁰より寺田ビルにおいて新入会員勉強会を行います。新しく入金された高山、古木、竹本会員は勿論一般会員の方もお集り下さい。

親睦委員会 中西委員長

- 本日のお祝い4名。お誕生日 保田 達君
(12月8日) 芦田敬治君(12月12日) 創業記念日 郡司 守君(12月10日) 入会記念日 鈴木久次郎君(53年12月7日)
- 3クラブ合同例会 中年合唱団の練習を行いますので、本日は12月8日(土)午後7³⁰に上田会員宅に集って下さい。参加することに意義を認めて下さい。



卓話

「ロータリーとは」 (その3)

小堀憲助氏(川崎北RC)

前回まではロータリーの歴史について述べて参りましたが、1905年創立当時のロータリークラブの社会における知名度はしれたものでありません。しかし当時のロータリアンはその1つ1つの種を大切に育て上げていきました、1910年頃になりますと、我らの少ない職業人の親睦のエネルギーを他の団体では果すことの出来なかった世のため人のためにつくすという力を外に向けて示すことが出来るようになって参りました。しかしながら力を転化させることはその実行となると難しいことが多かったのですが、それでも**1923年頃**には一応の決着を見出しております。

その3年前**1920年**に実力100万石の職業人を集めて日本で初めてのRC、東京クラブが誕生しております。前回の時にお話しを申し上げたことですが、創立当時の東京クラブは単に実力者の集りに過ぎませんでしたが、関東大地震を契機としてロータリー活動を精神的な面でとらえ親睦のエネルギーを戦後のロータリアンでは遠く及ばない社会改良のエネルギーとして放出し実行したのであります。歴史的な背景はその位にしまして

1927年以降国際ロータリーが提唱している奉仕活動の四つの分野について話しを進めて参りましょう。

RIの活動のなかで最も大きなものは **クラブ奉仕**であります。1人1人のロータリアンが、国際ロータリーの定款細則の定めるところに従ってクラブ管理運営の一翼をになうクラブ内での活動のことをクラブ奉仕(クラブサービス)と呼んでいるのであります。クラブ奉仕を理解するためにどうして必要なことが出て参りまして、クラブ単位の組織管理原則がいったい定款細則上どういう位置にあるのかを知って頂きたいのです。このクラブは新しいクラブでありますから、又手続要覧は翻訳ものであるために難解の点も少なくないのがありますが、どうか活字にとらわれ過ぎずに言

外の意を総体的見地から把握しておくことが必要で私のお話しの第1点であります。では規則にのっとって行えばすべて上手に行くかというのと、そうも参りません。これが第2点であります。1945年以降のロータリアンのなかには余り良く理解されていない方がおられます。例えば、皆で一緒に食事をしてどうしてこれが奉仕になるんだろう、などと見当ちがいの疑問を持っている人さえいるのです。

1927年以前にはクラブ奉仕という表現はありませんでしたが、当時のロータリアン達は今日クラブ奉仕活動といわれている。例会、協議会、役員会などに参加するための原理的意義について真剣に考えたのです。ところでロータリー理論に精通している方のことをロータリー博士と呼んだりしていますが、実は知識だけあってその精神を理解していない人が多いように思えます、彼等のことを自称ロータリー博士と呼ぶようにしたら私は思っているのです。

今日はその精神について触れてみようと思えます、といっても定款細則の原理的なものから掘りおこして参りますと2日間は話し続けても足りない程で、かいつまんだ物になってしまうことをご承知おき下さい。

そもそもガバナーとは何んでありましょうか。R Iの代議員の1人がガバナーであるという程度の理解では困まるのです。クラブの会長とは、又は幹事とは何か。そんなことも知らない、大和中クラブは例外でご座居ましようけれど、会長・幹事さんも少なくないのです。私は卓話を500回以上にわたって全国各地で行って参りましたがこれからお話し申し上げることは本邦初演、大和中クラブが初めてなのであります。

クラブ奉仕論

①立法系列……会員各位、多勢の人の心をまとめ活動を進めて行くためのクラブ政策の決定(理事会)。

②執行系列……立案計画を実行していくための総元締め(クラブ幹事)。

立法系列の最高の決議はクラブ会長ではなくクラブ理事会であります。その定数はクラブの大きさによっても異なりますが7~9名が一般的であります。そしてこれに理事会に出席するが決議権を持っていない職務上理事が参加いたします。そしてこのなかでクラブ幹事は別扱いとしなければならない最も重要な役職であります。その他に理事会に参加してはいけない役員としてS.A.A.があります。1970年以降この考え方に若干の変化がみられるようですが、S.A.A.は原理的に理事会のメンバーとなることは望ましくないのであります。

さて会長はどの位偉いんでしょうか?そんなに実力があるのなら年会費の50%は出すべきですね、とこれは一般社会の考え方であります。

ロータリー創立以来の大原則のなかにクラブ内での共通のものに対するかかりは頭数で財政負担をすることになっているのです。財政的意義における均一的平等の原則と私はこれを呼ぶことにしております。ロータリーは、人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず、であります。

ロータリーの役員は1年間を限度に神聖な友情からその役職を委託されたことであって決して他のロータリアンに対してのアドバンテージを持つものではありません。R Iの会長であろうと大和中クラブの平ロータリアンであろうと全く同格なのであります。ただロータリーを運動体として国際レベルで単年度に果さなければならない機能を委託しただけなのであります。ガバナー然りであります。

理事会は合議機関でありますから、一切の案件は理事会を通過させなければいけないのです。いかなる議題も直接例会において提案してはいけないことになっているのです。従いまして理事会で何かを決定した場合、会員のご賛同をお願いいたしますという事ではなくして、この様に決定しましたのでご報告申し上げますのでよろしいのです。この様に理事会はオールマイティーを持っているのですが、理事会だけでは何も出来ません。そのアシスタントとして各委員会があるので。委員会の決定は全部理事会の承認決議を受けることが

必要なのです。小さなクラブでこんな七面倒なことをとお考えになると思いますが、一旦争いが起った場合の事を想定いたしますと、理事会が決議権を握っていることがよろしいのです。又、例えばR Iから難問をつきつけられた場合でも速答する必要はないのです。理事会に計りましてご返事申し上げます。でよろしいのです、そのクラブの人員構成、財政の程度などを勘案して決定して下さい。

一方、クラブの決議事項を一身の責任において実行する最高の権限を持っている役職は**クラブ幹事**であります。会長ではありません。この事をよく自覚して頂いてしっかりして頂かなければなりません。

ロータリーの役職は毎年交替することはR Iの約束事として理解されておりますが、クラブ幹事会計、S.A.A.は例外であります。

所謂、社交クラブとは1人1人の我がまを認め合う所であり世俗の浮き世を忘れて楽しい心だけを通わせようとの集いであり一番団結の弱い集団であります。これを**纏め上げていく大黒柱的な役職**のことを**クラブ幹事**と呼んでいるのです。

この大黒柱が毎年交代することは好ましい事ではないのでありまして、東京クラブの**小林雅一氏**は11年、大阪クラブの**露口四郎氏**は幹事歴任13年です。日本にこうもRCが誕生しますと、その記録に挑戦することは並み大低のことではありませんが、大和中クラブの幹事歴任15年といって記録を更新して下さい、楽しみにしております。

世界に目を転じますと、1912年国際ロータリー会長をおやりになったロータリーの神様と呼ばれた**グレン・C・ミード氏**は実に幹事歴任50年であったのです。ロータリーの暖簾を守るのは会長ではなくクラブ幹事です。総理大臣の10倍以上の権限を持っているのが幹事です。どうか正調派の理論にもとづいた幹事の役職を大切に誇りを持って励んで頂きたいのです。

では**会長**とは何か。それは天皇であります。

会長とは立法系列の上に片足を置き、かたや執行系列の上にも片足をのせ、一切の権限を2つの

機関に与えたうえで上手に帽子の様に乗かって立っている哲学の神様のことをいうのであります。天皇とは政治権力の外にあって純度の高い良心の姿なのであります。最も純度の高いものが会長であります。

よりよい、クラブを存続させていく為には理事会のメンバーにその責任を自覚して頂き、最も会員の信頼を得ている幹事に絶大の権限を与えて10年～20年～30年と続けて頂きたいのです。

幹事は種々の意見を述べ1つの正しい示唆を与えて頂かなければいけないのですが、立案の決議に参加してはいけません。幹事は専門家であり、理事会は素人の集団だからです。

クラブを良くしていくもう1つの役職にS.A.A.を忘れてはいけません。**S.A.A.**は宮内大臣ですから決して下足番的に扱ってはなりません。多くの人達が集まる会場において流動的な機能的に会が進行するように前もってプログラミングする権限を持っているのです。

例会5分前でどうぞ着席下さい、時間ですから会長、点鐘して下さい。また途中退席をされる方は予めS.A.A.の許可を得るよう指示することも大切なことです。S.A.A.は会場においては絶対的な権限を持っておりますから、逆に好ましがらざる場合には何人といえども、ガバナーでさえも退場させることが出来るのです。会議の目的を達成するために総べての人をコントロールすることが出来るのです。そしてその任務の範囲が常に流動的であり速に順応する必要があるのです、例えば理事会のごとき雑用に煩らわされてはいけません。副S.A.A.は2名とされておりますが3～5名いてよろしいのです。主S.A.A.は会場の要に位置して目を光らしてして下さい、肩たたきは副S.A.A.にやらせ、私語に対しては警鐘を鳴らせばよいのです。

1927年以前のロータリアンは現在我々がクラブ内で行っている様なことを含めて**クラブ親睦**と呼んでいたのです。親睦とは人様を傷つけることなくして少数の職業人の親睦のエネルギーを世のため人の為に出放することです。親睦のエネル

ギーとは何か、自分の業界では得ることの出来ない自己研鑽を修得し、そしてその自己改善のエネルギーが例会を離れた次の暖間に自分の管理している企業において、その地域社会において万般の人間関係を改善することが出来るのであります。これがロータリーのロータリーたる所見であります。

自分とは異なった発想の出来る人達と付合うことによって自分を作り人を作って行くのです。

ロータリー運動を通じてこの精神が身について来るのであります。毎週1回の例会日には自分には無い何かを学んで帰るんだという自覚がなければ何も得られるものではありません。これではアクティブ会員とは申せません。

大和中クラブの皆さんは、自己研鑽の自覚を持って楽しい雰囲気の中で、他のロータリアンから学びこれを人に分けて上げて下さい。これはロータリー運動の中心課題ですからよく理解して下さい。時間が参りましたので今日はこの辺で。



スマイルBOX

東京町田RC 木目田会員 お世話になります。

横浜瀬谷RC 上野会員 お先に失礼させていただきます。(急用のため)

座間RC 足立会員 お世話になります。

大和RC 星会員 久しぶりにお伺い致しました。皆様の増々のお元氣な顔を拝見しなによりです。

大和RC 初山会員 竹本健一君の入会を祝って

大和RC 川島会員 久しぶりにお伺い致しました。御世話になります。

大和RC 吉利会員 お邪魔致します。

大和RC 土屋会員 先日はチャーターナイトのアルバムを北砂幹事自ら御届け頂き有難うございました。

大和RC 竹村会員 いつもお世話になります。

芦田会員 誕生日のお祝い有難うございます。

毎年1回来る誕生日ですが忘れていたことが多くなりました。今年はガバナーの公式訪問と協議会の日と重なりますが、ロータリーにつかれた1年のようです。

鈴木会員 12月8日生れ、悪い日に生れたものです。でも今日皆様にお祝して頂きまして誠に有難度う御座居ます。

郡司会員 お蔭様で順調に会社も少しづつ前に進んでいるようです。私も昨日は人間ドックの結果どこも異状なしと云われました。会社と同様健康に留意して前進します。

社会員 亀谷先生へ、先日私の彼女が大変にお世話をいただきありがとうございます。今は順調に回復しております。

国際ロータリーの1980年国際大会への 公式招待状

1980年6月1-5日 米国イリノイ州シカゴ
親愛なるロータリアンの皆さん

ロータリーの奉仕のたいまつが、米国イリノイ州シカゴでポール・ハリスと3人の友人によってともされたのは、1905年2月23日でありました。以来今日まで75年間、世界中の何千というロータリアンは、親善と人類同胞愛および世界理解のために「奉仕の灯で道を照らそう」と実践して参りました。

ロータリーが奉仕に尽して参りました75年を祝う国際大会が、1980年6月1-5日シカゴロータリー発祥の地である活気に満ちた国際的な都市で、米国で第二番目に人口の多い都市一で開催されます。私はロータリー創立75周年に当る本年度の会長として、この公式招待状をすべてのロータリアンとそのゲストの方々、国際ロータリーに対する歴史的なはなむけとなる本大会に参加していただくための私の個人的な招待状と致したいと思えます。

画期的な祭典となるこの大会の期間中は、恰もロータリーの歴史を呼び物とする豪華な余興番組が催されるような機会になると思えます。このような大会に、ロータリアンの方々とそのゲストの方々と共に世界中から参集されて、親交を温められ、心からすばらしい学びと感激の経験をされますと、われわれロータリアンはその将来が誠に明るい希望をもったものにうつし出されて、激励鼓舞されることになるでしょう。それは取りも直さず、ロータリアンの方々ももう一度ロータリー発祥のこの都市から「道を照らそう」と奉仕のたいまつを掲げて再出発することになるわけでもあります。

ジェームス L. ボーマー、二世
国際ロータリー会長



「75周年」を
触媒として：
会長から

ジェームス L. ボーマー、二世会長はローマ国際大会で「ロータリーとロータリアンは、人々のみならず、また人々にその気まぐれな考えていることから起る恐るべき結果をもっと自覚するように痛感させようと今日活発に活動している諸団体をも、互いに手を結ぶようにさせたり……また、人間に本来備わっている正直、公平、親切、助け合い、および、同情の念を延ばすようにさせたりする触媒としての役割を果たすことができます」と述べました。ジム会長はその「触媒」という考えを具体化して、ロータリー創立75周年々度のいくつかの目標を立てました。その中に次のようなものが含まれています：1979-80年度に1000の新クラブの加盟を承認すること；各地域社会におけるロータリーの広報を改善すること；各ロータリー・クラブは創立75周年々度の間「奉仕の灯で道を照らそう」を行ない、かつ「できるだけ広い範囲にわたって見える」ようにする何か有意義な奉仕事業を達成すること；および、各クラブは1980年6月1-5日に米国イリノイ州シカゴで開催される1980年国際ロータリー国際大会へ代表を送ること。

われわれはそれを実行することができる！

ジム会長の目標は、個々のロータリアンにも、地区にも等しくかかわるものであります。会長が呼びかけていることは、目的は一つであることを言っているのであり、また、行動することを求めているのであります。75年間にわたって、国際ロータリーは人類に奉仕し続けてきて、今その画期的な記念周年を祝賀しています。われわれのやる気は高まっています。ジム会長は1979年の国際協議会で「この75周年はわれわれの記念すべき年であります。この75周年の機会を最大限に活用しましょう」と述べられました。